

「えびな在宅医療相談室」

☎(231)86500

自宅で生活している人の医療や、介護について看護師が相談に応じます。電話または直接相談してください。

時 9時～17時(土)(日)(祝)・年末年始除く
場 海老名市医療センター(さつき町41)



相談例

- ・引越してきたばかりでかかりつけ医がない
- ・何科を受診すれば良いかわからない
- ・訪問診療や訪問看護を頼みたい
- ・介護を受けているが最期まで自宅で暮らしたい

医師・歯科医師による相談も

医師や歯科医師による相談を毎月行っています。1回30分程度です。事前予約制。日程は本誌15日号の相談コーナーをご覧ください。



「生活支援コーディネーター」

☎(232)16000

生活支援コーディネーターは、高齢者や地域の困りごとに対して地域の皆さんと一緒に解決を探します。高齢者の趣味を生かした活動の場探しなど、住んでいる地域や生活をより良くするための相談に応じています。

時 9時～17時(土)(日)(祝)・年末年始除く
場 総合福祉会館(海老名市社会福祉協議会内)



相談例

- ・買い物が不便
- ・手芸の趣味を生かしたい
- ・スマートフォンの操作がわからない
- ・電球を交換してほしい

支援事例

地域の協力でごみ出しを支援

体力の低下によりごみ出しが困難な人を支援するため、地域活動の担い手を育成する市の講座の卒業生からボランティアを募り、説明会を行うなどして支援へつなげました。



認知症の人や家族に

やさしいまちえびなを

目指して

認知症になる可能性は誰にでもあります。住み慣れた地域で生活し続けるためには周囲の理解や支援が必要です。



認知症に特化した相談先

「認知症初期集中支援チーム」

☎(231)86500



認知症が疑われる人に受診を勧めても、本人がかたくなに拒むことがあります。認知症初期集中支援チームは、医療や介護の専門職員が訪問を中心に約半年間集中的に関わりを持ち、認知症の診断や適切なサービスの利用につなげます。詳細は、同支援チームにお問い合わせください。

時 9時～17時(土)(日)(祝)・年末年始除く
場 海老名市医療センター(さつき町41)

行方不明者の早期発見のため 登録者に二次元コード付きシールを配布

「地域包括ケア推進課」☎(235)49500
(土)(日)(祝)は☎(231)21111(代表)

衣類などに貼って使用します



シール(実物サイズ)

認知症などが原因で行方不明になっている人を早期発見するため、「海老名市認知症等行方不明SOSネットワーク」の登録者に二次元コード付きのシールを配布しています。シールを付けた人が一人で外出している場合は、道に迷って帰れなくなっている可能性があります。見掛けたときは、シールに記載されている番号を確認し、海老名警察署または地域包括ケア推進課にお知らせください。

SOSネットワークの登録希望者は、お住まいの地区の地域包括支援センターへお問い合わせください。

地域で理解者を増やす

「認知症サポーター養成出前講座」

認知症を正しく理解し、認知症の人を地域で見守るために、出前講座を行っています。

自治会やサークルなど10人以上の団体
または直接地域包括ケア推進課へ



受講者には、認知症サポーターの目印「オレンジリング」を進呈